

# BRIDGE

## — 次代を創る —



### ごあいさつ

皆様には、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大防止の各種取り組みにご協力いただき有り難うございます。医療・福祉に従事されている方をはじめ、最前線でご尽力いただいている皆様に感謝申し上げます。

岡山県においても新型コロナウイルス感染症の影響により、生活資金や家賃支払いにお困りの方や事業売上げが半減した事業者などへの支援策を予算化してきています。また、クラスターが発生した場合に感染拡大防止を図るための医師などの専門家チームの派遣や介護福祉施設などでのサービスを継続的に提供できるよう応援派遣体制の構築なども行っています。

現在は、ワクチン接種体制の整備に取り組んでいるところであり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止とともに、一日も早い終息と、地域経済の復興に向けて取り組んでまいります。

岡山県議会議員 中塚周一

### 議員連盟活動

#### 外国人材・留学生支援推進議員連盟活動

コロナ禍における外国人技能実習生や留学生のおかれている状況や支援策などについて調査するとともに、今後の支援展開も視野に入れて活動し、政策提言に結びつけます。



#### 社会福祉関係振興議員連盟活動

毎年定期的に行っている岡山県社会福祉法人経営者協議会との懇談会では、福祉災害支援、高齢者介護、障害者福祉、児童福祉、保育など社会福祉全般にわたる意見交換を行い、県福祉施策に対する政策提言を行っています。



## 質問項目

1. コロナ禍における雇用情勢と対策について
2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらしたオンライン化について
3. 将来の社会保障のサービスと担い手について
  - ① 医療福祉分野を支える就業者見通しについて
  - ② 医療福祉分野の将来像について
4. 地域を支える労働力の確保について
  - ① 高齢者の就業支援について
  - ② 国と地方自治体が連携した雇用対策の推進について
    - ア) 雇用対策協定の効果について
    - イ) 一体的実施事業への取り組みについて



以下、質問内容を抜粋して掲載。

## 1. コロナ禍における雇用情勢と対策について



**Q** 岡山県内における新型コロナウイルス感染症による雇用情勢の大変厳しい状況下において、事業者へのセーフティネット、雇用対策、産業振興を一体的に進めていく必要がありますが、どのように対応していくのでしょうか。

**A** これまで事業の継続と雇用の維持を最優先に、資金繰り支援などに取り組んできたところだが、事業継続の支援に加え、業態転換やデジタル化、経営資源の集約化など、新たな取組への支援を求める声が寄せられているところであり、関係機関等と連携し、雇用対策とそれを支える産業の振興に取り組んでまいります。

## 3. 将来の社会保障のサービスと担い手について

第3次晴れの国おかやま生き生きプランでは「2040年の推計人口は168万人。高齢者人口は58.7万人のピークに達する。その後はすべての世代で人口減少が想定される。本格的な人口減少・長寿社会が到来する。」と見ています。

- ① 医療福祉分野を支える就業者見通しについて
- ② 医療福祉分野の将来像について

**Q** 第3次晴れの国おかやま生き生きプランでは、「安心で豊かさが実感できる地域の創造」の先にある将来像として、『医療・福祉サービスについて、AIやIoTの実用化やシニア・外国人材の就労などにより、高齢者の増加による需要拡大や、担い手の減少といった変化を克服し、医療機関等が少ない地域であっても、質の高いサービスを受けることができる。』と描いています。県として、どのように取り組んでいかれるのか。

**A** 医療・介護情報ネットワークの構築や、介護ロボットの導入促進による業務の効率化、外国人など多様な人材の活用等

を促進するための支援を継続するとともに、他県での好事例を積極的に収集し、横展開を図ることにより、将来、医療・福祉分野を目指す人にとって、魅力のある職場となるよう取り組んでまいります。



**Q** また、こうした医療福祉分野の変革などを継続的、積極的にアピールすべきと考えますが意気込みをお聞かせください。

**A** 質の高い保健・医療・福祉サービスを提供する担い手を継続的に確保するため、社会における仕事の重要性、ICT導入等による職場環境の変革、報酬改定による処遇の改善等について、様々な媒体を通じ、積極的に情報発信することにより、希望と誇りが持てる仕事であることをアピールしてまいります。



## 4. 地域を支える労働力の確保について

将来の労働力について、厚生労働白書では、2017年の就業者数が6,530万人であるのに対し、経済成長と労働参加が進む「成長実現・労働参加進展シナリオ」の推計においては、2040年の就業者数は6,024万人とされ、今後の人口構造の変化を踏まえれば、就業者数の長期的な減少は不可避と考えられるが、医療福祉分野での人材確保や活力ある経済の維持を考えると女性、高齢者等をはじめとした一層の労働参加が不可欠であるとしています。

### ① 高齢者の就業支援について

**Q** 第3次晴れの国おかやま生き生きプランの「働く人応援プログラム」においても高齢者の就業支援を施策として挙げています。これを実現するには、企業の理解と求人と求職のマッチング支援などが必要と考えられますが、どのように取り組んでいかれるのか、ご所見をお聞かせください。

**A** 高齢者の多様な就業機会を確保するため、経済団体等とともに生涯現役促進協議会を組織し、フォーラムの開催などを通じて、企業の理解を深めるとともに、おかやまシニア就業サポートデスクでのマッチング等により、高齢者の就職支援を行っているところです。引き続き、企業向けセミナーの開催やサポートデスクでの一人ひとりの状況に応じた、きめ細かなサポートにより、高齢者が意欲と能力に応じて年齢にかかわらず働き続けることができるよう、取り組んでまいります。

の落ち込みが大きくなる。産業ごとの需給のミスマッチを最小に抑えつつ、国全体として就業率を高めていく必要があるとしています。

## ア) 雇用対策協定の効果について

**Q** 国と地方自治体との連携をより強固にするため、国と地方自治体による「雇用対策協定」の締結が進み、岡山県も協定を締結しています。

この雇用対策協定の締結による効果や実績についてお伺いします。

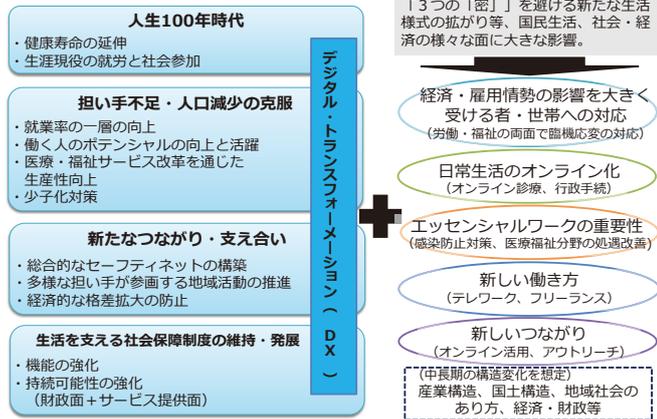
**A** 協定の締結により、具体的な取組や数値目標を事業計画として毎年度定め、役割分担しながら事業を展開しており、例えば、新規卒卒者などを対象にした合同就職面接会では、労働局が企業へ、県が学生へ参加を呼びかけるなどの役割分担により開催しているところであり、円滑かつ一体的な支援につながっているものと考えております。



## 令和時代の社会保障と働き方の方向性

(高齢者人口がピークを迎える2040年頃を見据えて)

(新型コロナウイルス感染症の影響)



## ② 国と地方自治体が連携した雇用対策の推進について

産業別に見た労働力需給推計について、厚生労働白書では、2017年と比較して2040年にかけて医療・福祉の伸びが大きい一方、卸売・小売業、鉱業・建設業、農林水産業で



## 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて



### 生活福祉資金特例貸付

休業などで、緊急かつ一時的な生計維持のための貸し付けが必要な世帯は20万円を上限に借りられます。失業などで生活に困窮している世帯は月20万円以内(単身世帯は月15万円以内)を原則3カ月間借りられます。無利子・保証人不要です。

問各市町村社会福祉協議会



### 発熱や風邪の場合の受診方法

発熱や咳など風邪の症状があるときは、無理をして職場や学校へ行かず、速やかに医療機関を受診してください。

### もしもの時のサポートシステム「もしサポ岡山」

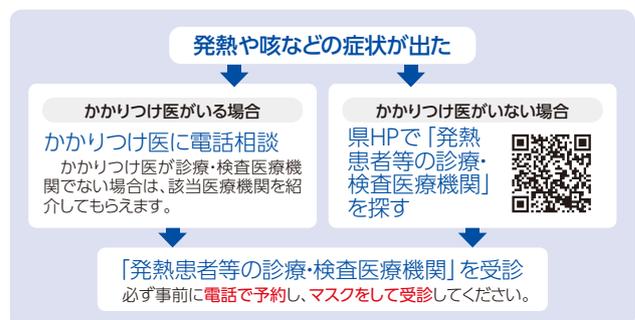
施設や店舗、イベントなどで、新型コロナウイルス感染症が発生し、不特定多数の方への感染の恐れがある場合に、LINEでお知らせします。外出先で「もし

サポ岡山」の二次元コードを見かけたら、スマートフォンでぜひ読み取ってください。詳しくはHPでご確認ください。

問新型コロナウイルス感染症一般相談窓口

TEL.086-226-7877

もしサポ岡山 | Q



問健康推進課 TEL.086-226-7331

### 新型コロナウイルス対策県特設サイト

ほかにも多くの生活支援、経済支援措置などの支援策や相談窓口がありますのでご確認ください。



# 陳情採択に向けて

## 地域循環型のより安全な学校給食に関する 支援要望について (令和2年12月定例会採択)

### Flower Wings—健やかな子どもたちの成長を願う ママの会—から

昨今、増加傾向にある発達障害、アレルギー症状、慢性疾患等を抱える子どもたちの背景には、化学物質や食品添加物、遺伝子組み換え作物、環境ホルモン等、様々な化学的なものを取り込む生活環境が問題視されています。子どもたちの健やかな成長を鑑み、少しでも安全な食材を使用していきたいというお母さん方の思いのつまった陳情です。

1. 「おかやま有機無農薬農産物」の推進・給食食材への活用促進
2. 学校給食に使用する小麦を県内産、もしくは国内産のものに段階的にでも切替えてできるよう研究を進めていただきたい
3. 農業体験や生産者さんとの交流等、地域の人とのつながりを持ち、支え合える充実した食育の推進

学校給食で農薬や化学肥料を使わず、より自然な栽培方法での食材が地産地消を中心に給食で提供されることは、生産者数や食材量、給食にかかる費用などを見ると実現には一朝一夕にはいかず、時間もかかることでしょう。しかし、安心して美味しく食べることができ、子どもの健やかな成長を



願えばこそ、段階的にでも実現させることが大切だと思います。その歩みを進めることのできる陳情採択でした。

## 介護福祉士養成教育に対する支援要望について (令和2年12月定例会採択)

### 日本介護福祉士養成施設協会から

超高齢社会が進み、介護を必要とする方も増えてきている中で介護を支える人材や介護予防を専門的に指導できる人材の確保・育成は、社会的に重要な課題です。しかし、すでに人材は不足しており、将来の高齢化がピークを迎え、本格的な少子高齢化社会に向けて継続的に対策を進めていく必要があります。

1. 介護福祉士修学資金等貸付制度の拡充・強化について
2. 介護職員の処遇改善の周知について  
\*厚生労働省の資料によると、福祉施設介護職の平均年収は、2015年から2019年の5年間で30万円も処遇改善されています。
3. 「福祉・介護人材参入促進事業」の継続、「福祉・介護の仕事広報啓発事業」の予算確保、現任介護職員の「キャリア形成訪問指導事業」などの財政的支援
4. 介護福祉士養成に係る離職者訓練制度(2年課程)の継続と柔軟な運用について



## 県議会広報テレビ「豪雨災害からの 復旧・復興とこれからの防災」

令和2年9月19日 OHK放送

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興ロードマップに沿った取り組みや予算などの進捗状況についてお話し



させていただくとともに、これまでも高潮対策として沿岸部を中心に取り組んできている防災施設の整備と公共施設耐震化について、堤防のかさ上げや



フレア式護岸、離岸堤の整備などのハード整備や地震動に対する耐震性能を有する断面への変更、液状化対策も含めた地盤改良や矢板の打ち込みなどによる堤防強化対策の実施、また、高齢者、障がい者、乳幼児など災害時要支援者への支援体制の構築や福祉避難所の設置促進などについてお話しさせていただきました。

# 次代の岡山をつくるために

所属委員会 防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会(委員長)／環境文化・保健福祉委員会

岡山のために  
日々勉強!!

## 委員会調査

### 防災・環境対策・ スポーツ振興特別委員会



「しらうめスポーツクラブ」(真庭市)  
統合型地域スポーツクラブとして、様々な地域行事を企画し、地域の皆さんと一体となって健康増進と地域活性化に取り組まれている。

### 「新見バイオマス発電所」(新見市)

新見市の森林資源を燃料として、現在、年間で一般家庭4300戸分の発電を行っている。バイオマス発電は、使用されない木材を再資源化するエコな発電であるだけでなく、木材などの植物を利用することで地球温暖化の抑制も期待される。



## 環境文化・保健福祉委員会

### 「高梁クリーンセンター」(高梁市)

ごみ焼却処理、し尿処理、粗大ごみの破碎処理、埋立ごみの処理等のほか、資源収集品目のリサイクルを行っています。



### 「鳥の劇場」(鳥取市)

廃校になった小学校と幼稚園を劇場に変えて、国内外の優れた舞台作品の招聘、舞台芸術家との交流、教育普及活動などを行い、地域の発展に貢献しています。



### 「岡山県健康の森学園」(新見市)

知的障害のある方々が豊かな自然の中で、山歩きや農作業などに親しみながら、集団生活や地域の人々との交流を通して自立と社会参加を促進しています。



### 「津山中央病院」(津山市)

感染症法に基づく指定医療機関であり、新型コロナ感染症患者の受け入れ態勢などについて説明を受けました。

### 「湯原保健福祉センター」(真庭市)

市民の健康に関する相談・指導を行う保健センターや介護事業所と、消防署が併設された複合施設で、隣接地には湯原温泉病院もあり市民生活の中核地となっています。



### 「津山文化センター」(津山市)

特徴的な外観を生かしつつ耐震補強やバリアフリー化を図るとともに、レッスン室やアートライブラリー、屋外テラスなど大規模改修し、より魅力的で利用しやすい施設に生まれ変わりました。



